ロートコン

確認試験(2)の項を次のように改める.

確認試験

（２） 本品の粉末2.0 gを共栓遠心沈殿管に入れ，アンモニア試液30 mLを加え，5分間超音波を照射した後，遠心分離する．上澄液を分液漏斗にとり，酢酸エチル40 mLを加えて振り混ぜる．酢酸エチル層を分取し，無水硫酸ナトリウム3 gを加えて振り混ぜ，液が澄明となった後，ろ過する．ろ液をとり，減圧下で酢酸エチルを留去し，残留物をエタノール(95) 1 mLに溶かし，試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用アトロピン硫酸塩2 mg及び薄層クロマトグラフィー用スコポラミン臭化水素酸塩1 mgをエタノール(95) 1 mLに溶かし，標準溶液(1)及び標準溶液(2)とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液，標準溶液(1)及び標準溶液(2) 5 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次にアセトン／水／アンモニア水(28)混液(90：7：3)を展開溶媒として約10 cm展開した後，薄層板を80 ℃で10分間乾燥する．冷後，これに噴霧用ドラーゲンドルフ試液を均等に噴霧するとき，試料溶液から得た2個の主スポットは，標準溶液から得たそれぞれの黄赤色のスポットと色調及びR_f値が等しい．